

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成30年10月11日(2018.10.11)

【公開番号】特開2017-50124(P2017-50124A)

【公開日】平成29年3月9日(2017.3.9)

【年通号数】公開・登録公報2017-010

【出願番号】特願2015-171937(P2015-171937)

【国際特許分類】

F 2 1 V 19/00 (2006.01)

F 2 1 S 2/00 (2016.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

【F I】

F 2 1 V 19/00 1 3 0

F 2 1 S 2/00 2 3 0

F 2 1 V 19/00 1 7 0

F 2 1 V 19/00 5 1 0

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月21日(2018.8.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

つぎに、図 6 (A) を用いて、器具本体 3 の使用例について説明する。器具本体 3 は、本体部 3 1 0 の長手方向端部に蓋部材 3 0 0 を嵌合することで、図 6 (A) に示すように、LED 照明ユニット 2 側が開口した箱状となり、その内部に、例えば、電源に差し込むための電源プラグ 3 2 0、電源回路を収納したケース 3 2 1、並びに、配線 3 2 2 および前述の受電コネクタ 2 5 2 を挿入可能な給電コネクタ 3 2 3 を有する一対の給電手段 3 2 4 等を収納可能である。電源プラグ 3 2 0 は、配線挿入孔 3 1 3 を介して、前記電源が設置された天井等の LED 照明器具 1 を取り付ける器具取付面へと送り出すことができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

本発明の LED 照明器具 1 によれば、前述のとおり、器具本体 3 内部に、例えば、電源回路を収納したケース 3 2 1、並びに、配線 3 2 2 および前述の受電コネクタ 2 5 2 を挿入可能な給電コネクタ 3 2 3 を有する一対の給電手段 3 2 4 等を収納可能である。このため、本発明の照明器具 1 によれば、特許文献 5 に記載の照明器具のように、LED に電力を供給するための配線を長手方向の一端に設ける必要はなく、デザインの制約なしに、小型の蛍光灯を用いた照明器具を代替可能である。また、本発明の照明器具 1 では、器具本体 3 の本体部 3 1 0 ではなく、一対の蓋部材 3 0 0 が係止部 3 0 1 を含むことで、器具本体 3 の強度が高くなり、LED 照明ユニット 2 の板バネ状係止部材 2 1 4 が係止部 3 0 1 に係止されたときの器具本体の損傷を防止可能である。